

晴天恵まれ二日間で約千二百人

おおひと梅まつり

二月十六日、十七日に大仁梅林と大仁神社を主会場に『おおひと梅まつり』を開催しました。寒さのため今年の開花は約二週間遅れましたが、二日間とも晴天に恵まれ、多くの市民や観光客が訪れました。

神社境内では、雅楽や民謡などの披露のほか、屋台も出店され、商工会が開発した『伊豆の国パン祖の伊豆パン』も初めて販売されました。これは、国の補助を受けて商品開発を進めていた土産用のパンで、アユ・ワサビ・イチゴ・シイタケ・黒米を使ったパンを詰め合わせたもの。五十セットが初日で完売となる盛況ぶりでした。山一面に梅が植えられて

「これからも人のために尽力」
江間忠さんが高齢者叙勲を受章



梅を見ながら無料サービスされた甘酒を楽しみました

江間忠さんが高齢者叙勲を受章

江間忠さん(奈古谷)は、四期十六年の長きにわたり、地方自治の振興に貢献されました。その功績をたたえ、二月一日付で天皇から高齢者叙勲を授与され、二月二十日に県庁で伝達式が行われ、県知事から勲章を受け取りました。



県知事から勲記を伝達される江間さん(左)

江間さんは、皆様のご支援のおかげと心より感謝している。亡き戦友のためにも、これからも世のため人のために尽くしていきたい」と受章の喜びを語りました。

いるため、上から見下ろしたり下から見上げたりできる大仁梅林。ここでは、写生コンクールや甘酒無料サービスなども実施しました。二日間で訪れた千二百人の来場者は、一足早い春の訪れを楽しみました。

『野尻の河童』など映像化

大仁東小の児童が原画を制作

静岡県文化財団が開催した『子どもたちが伝える昔ばなし』の発表会に、大仁東小の五、六年生二十一人が参加しました。この発表会は、子どもたちが地元の話や伝承を絵に表し、それを使った映像で昔ばなしを残していこうという活動です。

大仁東小の児童は、田原野地区の河童にまつわる話『野尻の河童』に挑戦。児童たちは昨年七月から、物語を読んだり現地を訪れて作品のイメージを固め、市内在住の画家・新井直子さんの指導のもと一人、二枚の絵を仕上げました。静岡グランシップで開催した発表会では、県東部の小学校四校から約九十人の児童が参加し、昔話に関する地域の説明を受けた後で、四作品を鑑賞しました。



原画を描いた大仁東小児童たち

大河ドラマ『篤姫』効果で増加

江川邸入館者三十万人達成

三月二日、江川邸の有料公開入館者が三十万人となり、節目の入館者に記念品が贈られました。

三月二日、江川邸の有料公開入館者が三十万人となり、節目の入館者に記念品が贈られました。三十万人目の入館者となったのは、東京から家族四人で日帰り旅行に来ていた吉村尚記さん。インターネ

ットで葦山いちご狩りセンターの近くに江川邸があるのを知り、いちご狩りを楽しんだ後、史跡巡りに興味があるという吉村さんの希望で立ち寄ったとのこと。「建物が復元ではないと聞いて驚きました。偶然ですが

節目の入館者となることで、できて光栄です。東京に戻ったらみんなに広めたいと、吉村さんは感想を話しました。記念品として、葦山竹の花差し・焼酎『天璋院篤姫』・パン祖のパンを、家族四人が笑顔で受け取りました。

江川文庫の藤井総括主任は、「大河ドラマ『篤姫』効果などで、この三カ月の入館者数が前年比百三十%となっています。三月二十三日(日)放映の第十二回では、將軍家へのお参り入れのシーンで江川邸が登場します。市民の皆さんもぜひ実物の江川邸を見にご来館ください」と話していました。

江川文庫職員と記念撮影をする吉村さん家族(左側4人)



日曜日に届出OK 休日窓口サービス

3月下旬から4月初旬は、転勤や就職等のため異動が多い時期です。市では、日曜日の午前中に窓口サービスを行います。

3/30 (日) 4/6 (日) 8:30~12:00 午前中のみの実施です。

伊豆の国市役所 伊豆長岡庁舎・葦山庁舎・大仁庁舎 で実施

取扱事務 転入、転出などの住民異動届 戸籍関係の届出
 印鑑登録 住民票や税証明など諸証明書の交付
 税、料金の納め

*他の官公署へ照会が必要となるものは、受け付けできないこともあります。

問合せ 市民サービス課 電話 055 948 2901